

11月9日～15日

秋の火災予防運動週間

令和4年11月1日発行

予防課

☎254-0356 FAX 256-7755

2022年度 全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

11月9日(水)～15日(火)の1週間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。冬は空気が乾燥し火災が発生しやすくなる季節です。火災から尊い命と貴重な財産を守るため、一人一人が火災予防の意識を高めましょう。

いざという時に命を守る住宅用火災警報器！

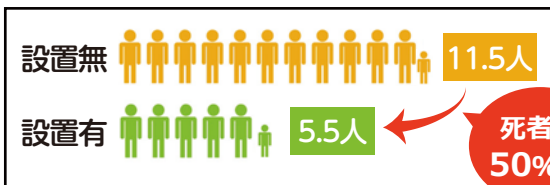
- たばこの火が座布団に落ちたことに気付かなかった…
- 天ぷらを揚げていたのに、火を消さずにその場を離れてしまった…
- 家族全員が寝ている夜中、放火された…

こんな時

住宅用火災警報器を設置していると、すぐに火災を警報でお知らせし、初期消火や素早い避難をすることができます。平成30年～令和2年の総務省火災報告集計を比較すると住宅用火災警報器を設置している場合は、以下の図の通り、設置していない場合と比べて死者の数は半減し、焼損床面積と損害額も大幅に減少しています。



住宅火災100件当たりの死者数



死者数
50%減

焼損床面積
50%減

損害額
40%減

住宅用火災警報器は点検・交換が重要です

住宅用火災警報器の点検・交換は、誰でも簡単にできます。本体のボタンを押すか、付属のひもを引くと、正常な場合は正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。

故障を知らせる音声・音が流れた場合や、反応しない場合、設置してから10年以上が経過している場合は、すぐに交換しましょう。

ひもを引く



ボタンを押す



点検方法

住宅火災に注意！

住宅火災を起こさないために次のことを徹底しましょう。

こんろに注意

- 調理中はその場を離れない(離れるときは必ず火を消す)
- こんろの周りには燃えるものを置かない



たばこに注意

- 寝たばこは絶対にしない、させない
- たばこは確実に消す



電気配線に注意

- コンセント周りにはほこりをためない
- たこ足配線をしてはいけない

